

2023年度 活動報告・2024年度 活動計画

環境委員会

2024年 6月 27日

委員長
加賀 幹広

環境委員会の概要

■方針

- 医療機器販売に影響する世界の環境規制の情報収集。
- 対応指針の明確化、関連団体と連携、JIRAの意見の各国規制への反映。
- 会員企業に対して規制等の周知を行い、業界全体の歩調を合わせていく。



■役割

(a) 世界の環境規制について

医療機器の輸出等に影響する欧州化学物質規制（RoHS、REACH）などの世界的環境規制について調査・情報収集・動向調査並びに発信を行う。

(b) 日本行政およびカテゴリー8 & 9関連工業会並びにDITTA環境WGと情報交換し、日本側の意見をまとめ発信する。

(c) 日本医療機器産業連合会（医機連）環境委員会と連携し、各国環境法規制動向の整理調査を行う。

2023年度 活動報告

- 定期環境委員会開催：12回/年
- 環境セミナー(2023年11月1日開催) 48名参加
本委員会の委員及び外部講師(*)による「最近の主な環境規制」、
「欧州環境規制の最新動向」の講演。好評を頂いた。
- 関連団体との連携（一部を紹介）
 - ・ 欧州REACH規則PFAS規制案への意見出し（医機連）
 - ・ 欧州RoHS改訂案に対するUmbrella Projectの意見へエンドース
 - ・ 米国メイン州及びミネソタ州のPFAS規制への「医療機器への適用除外に関する」意見出し（医機連）
 - ・ カテゴリー8&9 関係工業会主催セミナーへのパネラー参画

(*) 欧州放射線医用電子機器産業連合会 (COCIR) 及び、国際画像診断・医療IT・放射線治療産業連合会 (DITTA) 環境委員会事務局



2024年度 活動計画

■ 環境法規制の情報収集と動向調査

近年、持続可能な社会の実現に向け、各国が規制化や規制強化の方向にある。継続して情報収集、動向調査と共に関連団体と連携し、業界内の共有化や必要な意見出しを行っていく。

■ 2024年度 動きのある主な法規制 （※本年度も欧州が中心となる見込み）

- 欧州 REACH規則改訂及び制限物質追加、RoHS適用除外延長、
電池規則、欧州包装・包装廃棄物規則、エコデザイン規則
- 各国・地域のPFAS規制
- POPs条約

■ 環境セミナー開催、カテゴリ89セミナーへの参画



ご清聴
ありがとう
ございました

JIRA

一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association